

2020年GWの人出見込みについて

1. 人の移動の状況

(1) 県内観光施設

観光国際戦略局の月例観光統計調査によると、県内主要観光施設(35施設)の3月分延べ入込客数(速報値)は369,859人(前年同月比70.6%)となった。

今年のGW期間は主要観光施設35施設のうち25施設が休館となることから、最大でも3月と同様前年同月比70%、実際はそれ以下となる可能性が高いものと想定される。

⇒ 5月入込客数 前年同月比70%の場合、314,655人

※2019年5月実績 1,110,532人

うち、2020年GW休館24施設分+弘前さくらまつり関係施設実績 661,024人
(休館25施設のうち1施設については公表不可のため除外)

$1,110,532人 - 661,024人 * 70\% = 314,655人$

(2) 高速道路

- 国土交通省によると、4月18日(土)の東日本、中日本、西日本、本州四国連絡の高速道路4社の通行量は57%減。4月19日(日)は59%減。
- 国土交通省では、地方部の高速道路で普通車以下を対象に実施している土日・祝日の高速料金3割引を4月29日~5月6日は適用しない方針を発表。

(3) JR

- JR東日本によると、4月18日(土)、19日(日)の新青森駅利用者数(自動改札機利用者)は前年同期比18%となった。
- 4月24日から5月6日までの13日間における東北・北海道新幹線の指定席予約状況は、約34,000席(前年比7.5%、上り・下り合計)。

(4) 航空

航空会社別4月29日(水・祝)~5月6日(水・祝)の運休・減便状況は以下のとおり。

○青森空港

- | | | |
|-------------|--------|-----------------|
| ・東京線(JAL) | 羽田・青森 | 1日6往復12便→2往復4便 |
| ・大阪線(JAL) | 伊丹・青森 | // 3往復6便→1往復2便 |
| (ANA) | 伊丹・青森 | // 3往復6便→1往復2便 |
| ・札幌線(JAL) | 新千歳・青森 | // 3往復6便→2往復4便 |
| (ANA) | 新千歳・青森 | 運休(通常時 1日2往復4便) |
| ・名古屋線(FDA) | 運休 | (通常時 1日4往復8便) |
| ・神戸線(FDA) | 運休 | (通常時 1日1往復2便) |
| ・ソウル線(大韓航空) | 運休 | |
| ・台北線(エバー航空) | 運休 | |

○三沢空港

- ・東京線（JAL） 羽田・三沢 1日3往復6便 →1往復2便
- ・大阪線（JAL） 伊丹・三沢 運休・減便なし 1日1往復2便
- ・札幌線（JAL） 丘珠・三沢 5/4のみ運休 1日1往復2便

合計（国内線のみ） 1日27往復54便 → 9往復18便

⇒現在、早期割引等の予約がそのまま残っている状況であり、今後キャンセルが出てくるものと想定される。

2. 緊急事態宣言前後における全国主要都市の人口変動分析

ドコモの分析によると、4月21日（火）、4月22日（水）両日の青森駅前の人口は感染拡大以前（1月18日～2月14日）と比較し約17%減少した。

2020年4月21日 午後3時時点

	感染拡大以前との比較	宣言前（7日）との比較	宣言前（16日）との比較	前日との比較
青森県 青森駅	-17.9	-8.6	-7.7	-2.6
岩手県 盛岡駅北	-33.2	-16.0	-7.7	-5.6
宮城県 仙台駅西	-42.7	-29.1	-19.2	-4.1
宮城県 青葉通一番町駅	-34.7	-23.5	-17.3	-2.4
秋田県 秋田駅	-36.5	-25.2	-17.2	-6.9
山形県 山形駅	-34.1	-15.2	-8.0	-6.9
福島県 福島駅周辺	-10.9	-17.6	-14.7	-7.0
福島県 郡山駅	-32.2	-15.3	-10.9	-5.1

増減率（%）

2020年4月22日 午後3時時点

	感染拡大以前との比較	宣言前（7日）との比較	宣言前（16日）との比較	前日との比較
青森県 青森駅	-17.2	-7.9	-6.9	0.8
岩手県 盛岡駅北	-38.9	-23.1	-15.6	-8.5
宮城県 仙台駅西	-44.7	-31.5	-22.0	-3.4
宮城県 青葉通一番町駅	-37.0	-26.1	-20.1	-3.4
秋田県 秋田駅	-35.4	-23.8	-15.6	1.9
山形県 山形駅	-33.8	-14.9	-7.6	0.4
福島県 福島駅周辺	-11.8	-18.5	-15.6	-1.0
福島県 郡山駅	-31.4	-14.3	-9.8	1.2

増減率（%）

※東北部分のみ抜粋